

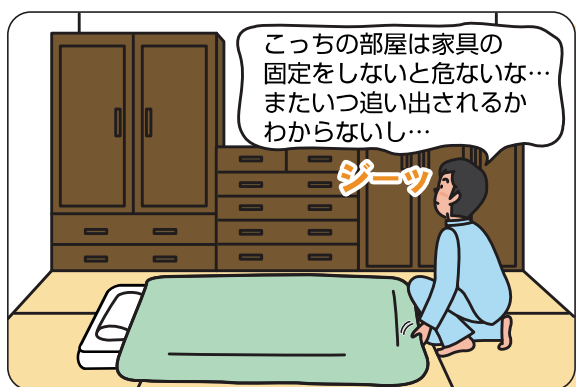
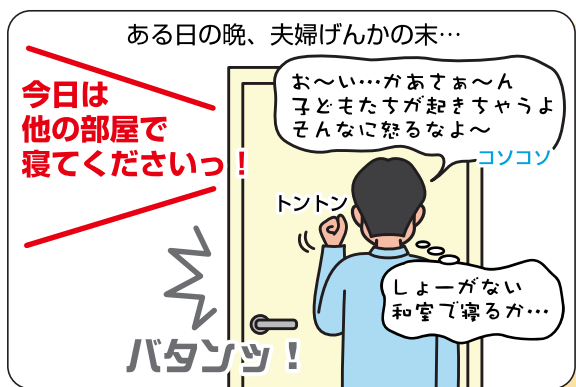
お部屋の「安全空間」は作っていますか？

家の耐震性がバッチリでも安心は禁物

平成7（1995）年に発生した阪神・淡路大震災や、平成28（2016）年の熊本地震などで、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになり、尊い命を失ったり、大ケガをしたりしました。

「大地震では、家具は必ず倒れるもの」と考えて、日頃から家具の固定や配置の見直しで「安全空間」を作っておきましょう。

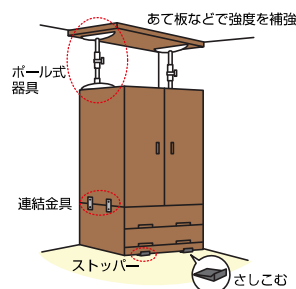
減災マンガ 安全空間編



家具の固定

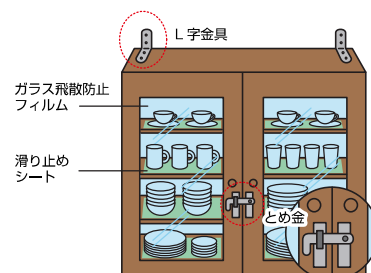
タンス

ポール式器具はタンスの奥の方（壁側）で、天井や家具の硬いところに取り付けます。また、天井側だけでなく床の側もストッパーなどで固定し、上下に分かれている家具は連結しておきましょう。



食器棚

食器棚の本体はタンスと同じように金具などを用いて固定します。また、開き戸が開かないようにとめ金を付けたり、ガラス部分にガラス飛散防止フィルムを張ったりして、ガラスや食器が凶器にならないよう工夫しましょう。



本棚

タンスと同じように、壁の中の硬い所や下地材のあるところを探して、金具やワイヤーなどで固定します。また、本棚の端の硬い部分にヒモやベルトなどを取り付けて中の本が飛び出さないようにしましょう。

